

## 会 議 録

会議の名称	登米市立小・中学校「学校再編に係る地域座談会」(中田地域)	
開催日時	令和元年5月29日(水)	
	午後 7時 00分 開会	
	午後 8時 20分 閉会	
開催場所	宝江ふれあいセンター 多目的ホール	
教育委員会 出席者氏名	教育長	
	教育部長	
	教育部次長兼学校教育管理監	
	学校再編推進室長	
	学校再編推進室 学校再編推進係長	
	学校再編推進室 主事	
	学校再編推進室 主事	
参加者数	31名	
挨拶	事務局	開会 午後7時00分
	教育長	開会挨拶
説明	事務局	配布資料に沿って「登米市立小中学校等再編構想」及び「(仮称)学校統合準備委員会の設置」について説明
質問	事務局	意見交換・質疑応答
	出席者1	(仮称)学校統合準備委員会(以下「準備委員会」という。)の委員の構成について、教育委員会では今回の再編は、現状を分析しての再編計画なのか。あるいは、10年後、20年後の将来を見越しての再編計画なのか教えて欲しい。将来を見据えての再編ということであれば、この委員構成で本当に小中学校児童生徒の保護者の意見が取入れてもらえるか疑問である。もっと若い世代の意見が活かされるような委員構成にして欲しい。また、校舎の耐用年数は、何年としているのか。資料に載っている学校管理経費の施設費等には、学校運営費は含まれるのか。登米市は児童生徒一人に対する学校運営上の経費が少ない状態にある。今回の再編によってこの部分は改善されるのか。
答弁	室長	準備委員会の委員の構成について、まず、今回の学校再編は、市全体の将来の児童生徒数の推移を分析した上でのものとなっている。地域別に見れば現時点で減少の激しい地域、緩やかに減少していく地域があるのでそれを踏まえ、前期計画と後期計画に分けている。学校というものは子供の学びの場であり、教育環境の充実を一番に考えていることから、児童生徒の保護者や未就学児の保護者の意見を一番に取入れるべきだが、学校というものは地域の拠点としての役割も果たしていることからこのような委員構成となった。また、資料に記載されているが、委員会の会議に委員以外の方を呼び意見をいただくことができるので、若い世代の方達も含め、より広い範囲の方達の意見を取入れながら進めていきたい。校舎の耐用年数については、日本建築学会で示しているRC造(鉄筋コンクリート造)の望ましい目標耐用年数が概ね65年となって

質問	出席者 2	<p>いることから、65年を耐用年数としているが、必要な修繕、改修等を行えば65年以上使えると認識している。今回の再編については、既存校舎を有効活用することとしているので、各校舎を調査し、必要な対応を行い、有効活用を図っていきたい。施設費等の内訳については、機械警備業務等の施設管理業務の委託費、スクールバスの運行経費に報償費、旅費等からなる学校運営費を合わせた金額となっている。教育費の充実については、教育委員会でも可能な限り対応していく。また、費用以外の面でもできることを行っていきたい。</p>
質問	出席者 2	<p>市の財政面を考えたときに、古くなった校舎を修繕するよりも、新築した方が、経費がかからない場合もあると思う。中田町域で段階的な統合を行うとしているが、財政的に可能なのか。1つの校舎を新しく建てた方が、経費が安く済むのではないか。また、市の基本方針の中で各学年2学級以上、旧町域に1校は配置、通学時間は概ね1時間以内となっているが、児童生徒の推移を見ると明らかにクラス替えができない学校が存在する。目標と実際の取組との間に矛盾があるように思える。市ではどのように考えているのか。また、再編計画の終期はどうなっているのか。終期が明確になっていればそれに合わせて交流会等を行えると思う。そういったソフト面についてはどうなっているのか。</p>
答弁	室長	<p>一点目の修繕費用について、お話しされたとおり中田地域の全ての校舎の修繕を行うより、新校舎を建てた方が、経費が抑えられることはあり得ると思う。既存校舎の有効活用を前提としておりますが、費用対効果について試算を行い、検討を行っていく。二点目の市の方針について、現時点で学年単学級となっている学校は存在している。そのような所にも早急に取組む必要があるが、教育委員会としては、第一に複式学級の解消を優先して進めたいと考えている。</p>
答弁	管理監	<p>ソフト面について、小中学校児童生徒の保護者と未就学児の保護者にアンケートをとった際に、いじめ・不登校に対して不安を感じているといった意見が多かった。今のご意見にもあったように統合となれば統合前から子供間での交流事業や統合されるそれぞれの学校の学習規律等も考慮しながら進めていき、児童生徒、保護者それぞれの不安を取り除くことができるように意見を聞いて具体的な対応につなげていく。</p>
答弁	室長	<p>再編の終期については、再編構想で示したとおり10年間で行うことが教育委員会としての考えであるが、地域によっては、もう少し時間を要することもありえる。</p>
質問	出席者 3	<p>個人的には、中田地域については、小中学校ともに1校ずつでいいと考えている。もし仮に小学校が2校になったとして、将来的にまた統合の必要性が出てくることも考えられる。そう考えると最初から1つに統合したほうが良いと思う。ただ、一度に全部となると児童数が多くなりすぎて児童に目が行き届かなくなる可能性もあるので、段階的な統合をとる場合であれば、石森地区で1校、宝江、上沼、浅水地区で1校としその後1校となることも考えられるが経費をどう抑えるのかが課題になると思う。また、中田地域の小中学校を一貫校としてはどうか。</p>

答弁	室長	手法は複数考えられると思う。中田地域については段階的な統合ということで、既存校舎を活用しながら次の段階へと進んでいくというのが1つの案として挙げさせていただいている。一度に全ての学校を1つに統合する方法も考えられる。どのような形での統合が良いかは、話し合いの中で決めていきたい。中学校については、資料にもあるとおり将来的には、町域を越えての統合を検討していかなければならない中田地域については、東和地域、登米地域との統合の可能性もあるので、選択肢の1つとして考えていきたい。
質問	出席者3	準備委員会の委員について、資料には小中学校児童生徒保護者の代表者、学校運営協議会の代表者、行政区長会の代表者となっているが、それぞれ何名ずつ委嘱するのか。近い地域同士での統合となると各地域の年配の方の意見要望が強くなってしまい、若い世代の意見が取入れられなくなるので、統合する際は、地域根性が出ないようにすべきだと思う。準備委員会の構成についてはどうなっているのか。
答弁	室長	準備委員会の構成について、中田地域については、小学校5校、中学校1校なので、小中学校の保護者の代表者6名、学校運営協議会の代表者6名、行政区長会の会長1名の計13名となる。地域の意見を除くということですが、全ての意見を除くわけにはいかないなので、若い世代と地域の方お互いが納得できる形で進めていきたい。
意見	出席者1	未就学児の保護者の中からも委員を出すべきでは。
答弁	室長	委員としてではないが、未就学児の保護者等様々な分野の人から広く意見を聞くために委員会へ委員以外の方を出席できるようにしているので、そちらで対応していきたい。
意見	出席者1	アンケートで小中学校児童生徒保護者や未就学児の保護者から寄せられた意見も取り入れて欲しい。若い人の意見がこれからの町づくり、学校づくりに欠かせないものと思う。
答弁	室長	準備委員会の中で取り上げていきたい。
質問	出席者2	先日、全国学力学習状況調査（以下「全国学力調査」という。）が行われたが登米市はどのような結果だったのか。宮城県は全国で30番台だと思ったが、その中で登米市はどれくらいに位置しているのか。それに対して市ではどのような取組を行っているのか。今回統合の話が出ているが、少人数だから悪いのか、大規模で目が行き届かないから悪いのかが外からは分からない。学校が住民に対してあまり開かれていないと感じる。そんな中で準備委員会を設置して自分の意見が取り入れてもらえるのか心配である。委員の構成についても、これから学校に子供が入学する方が入っていない。これでは排除の方向に向かっているように捉えてしまう。なので、若い世代、未就学児の保護者、今後についてどうすべきかを悩んでくれる人を委員にした方がよい。
答弁	管理監	学力向上について、全国学力調査の結果は、調査の目的を踏まえた上

		<p>で今まで公表してこなかった。今年度については、取組の状況ということで、市の状況をお知らせしていくこととしている。県の状況については、新聞等で報道されているとおり全国で低い順位に位置している。学力向上については、いじめ・不登校と並んで重要な課題としており、授業の組立の検討や、学校内外での教職員の研修、市の統一的な授業スタイルの確立等の取組を行っている。また、小学校については、加賀野小学校において、県の学力向上の指定を受け、昨年から3年間をかけて実践的な取組を行っている。こちらの取組についても加賀野小学校だけでなく市全域での取組にしていき、学力向上につなげていきたい。学校規模によって学力に影響が出るといったデータは出ていないので、状況に合わせた適切な指導を行っていきたい。</p>
答弁	室長	<p>準備委員会の委員構成について、決して若い世代の意見を排除する意図はなく、必要であれば意見を聞く場も設けていきたい。準備委員会立上後に議論された内容、今後の検討事項等については、積極的に情報発信を行い、それに対して意見があればその意見を取上げていきたい。</p>
質問	出席者 3	<p>準備委員会の委員構成についての提案だが、小中学校の保護者の代表者を学校から男女1名ずつ、幼稚園、保育所の保護者についても同様に各施設から男女1名ずつ、各学校運営協議会の代表者1名、行政区長会の代表者1名とすれば、若い方の意見が十分反映されるのでは。また、全国学力調査について、学校によっては、学校運営協議会の中で他校や前年度と比較しどのような状況になっているかの話が出ているので、他の学校においても同様の話はできると思う。自分の子供の通う学校の学力水準については、保護者の方の関心も強いと思うので、可能であれば教えていただきたい。</p>
答弁	室長	<p>委員の構成について提案をいただいたが、教育委員会としては、委員には各団体の総意としての意見を準備委員会に持ってきてもらうように考えている。幼稚園、保育所については、認可施設、無認可施設等複数ある中からどの範囲までを対象とするかによって、1施設から何名委員にすべきかの判断が複雑になることから、委員の中には入っていないが、委員以外の方でも委員会の中で意見を述べられるようにしているので、意見については広く取り入れていきたい。</p>
答弁	教育長	<p>全国学力調査の結果の公表について、今年度の4月に実施し、各学校で自己採点を行った結果を教育委員会に提出してもらい市内の状況についての把握、分析を行っている。あくまで調査ということから、今までは公表は行ってきていないが、市の学力状況についての問合せが多いことから、今年度から公表を行うこととし、今年度については、市広報10月号に記事を載せることとしている。</p>
質問	出席者 4	<p>再編の実施計画について、前期計画、後期計画と5年ずつに分けているが、前期計画については5年で打切るのか。それとも前期計画が終わってから後期計画に移るのか。</p>
答弁	室長	<p>教育委員会としては、前期計画に区分されている地域については、5</p>

挨拶	教育長  事務局	<p>年間で再編を完了したいと考えている。進捗具合によっては、前期計画の期間が変わることも考えられる。後期計画に区分されている地域についても、開始時期が早くなる可能性もあるが、完了時期については、この期間内で完了させたいと考えている。</p> <p>閉会挨拶</p> <p>閉会 午後8時20分</p>
----	----------------	---